



大山たか子通信

高ちゃんつうひん

* 2020. 8 No.51 *

市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mx1.netwave.or.jp HP:<http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/>



新型コロナウイルスと闘いながら地域医療を懸命に支えて下さっている医療従事者の皆様、困難な状況下で必死に介護現場で働き続けて下さっている皆様に心から感謝申し上げます。



新型コロナウイルス感染拡大が世界規模で猛威を振るい、国難ともいえる事態となり、事業や生活に深刻な影響を与え、誰もが想像し得なかった状況となっています。

また全国各地で甚大な豪雨災害も発生し、専門家はどこで発生してもおかしくないと指摘しています。私たちはまず自らの命を守る行動を速やかにとることが重要です。新しい生活様式を実行しながら感染予防の行動もしっかり行わなくてはいけません。7月2日公明党は「近年の災害対応と感染症対策を踏まえた防災対策の提言」を官房長官を訪ね、申し入れました。

国民の命と生活を守り抜くための政策実現に総力を挙げ、今後も第二波、三波に備えた様々な対応に公明党のネットワークを生かし取り組んで参ります。

4月17日 高松市議会公明党議員会として、大西市長へ新型コロナウイルス対策に関する第一回の緊急要望を行いました。



要望は、医療崩壊を起こさせない対策、相談体制拡充、情報発信強化の3テーマで、

- ①PCR検査体制の強化
 - ②医療従事者への支援
 - ③オンライン診療の導入
 - ④窓口や電話、SNSなどを活用した相談の体制整備
 - ⑤相談窓口の周知
- など9項目でした。

4月30日には、第二回要望を、市長へ文書として提出しました。

要望は、特別定額給付金10万円の迅速な支給開始、高松市特別対策の拡充、医療崩壊を起こさせない対策、相談体制・情報発信の強化を柱に、

- ①迅速な給付実施、全ての人にもれなく給付
 - ②妊婦のPCR検査の実施
 - ③DV・児童虐待の対策強化
 - ④障がい者への合理的配慮の充実を図る
- など7項目です。



5月下旬から電話でのコミュニケーションが困難な方用にFAX相談が可能となりました



6月議会で、議員報酬等の削減実施(コロナ対策に充当)

高松市議会は、市が行う新型コロナウィルス感染症対策費などに充てるため、議員報酬及び政務活動費の一部を減額する条例改正が議員提出議案として提出し、全議員の賛成により可決しました。これは公明党議員会として市民の皆様に寄り添い、厳しい状況下で苦しんでおられる方々への支援の財源に充てるよう調整してきたものです。.

本年7月から半年間の議員報酬の10%と本年度の政務活動費の20%を減額し、
2409万6千円を削減します。



★★ 高松市が独自の新型コロナウイルス対策事業を実施 ★★

子育て世帯臨時特別給付金

- 国の緊急経済対策に基づき、児童手当を受給する世帯に対し対象児童一人当たり2万円を支給(1万円は市独自による上乗せ)



ひとり親家庭等臨時特別給付金

- 児童扶養手当を受給する世帯に対し、一世帯当たり2万円を支給。



出産応援特別給付金

- 国の特別定額給付金の対象とならない令和2年4月28日以降に出生、または出生予定の子どもに対し、令和2年4月28日時点で妊娠中の方に10万円給付。

* 対象者

- ① 高松市特別定額給付金の対象者で令和2年8月1日時点で高松市に住所を有する方
- ② 令和2年4月28日時点で妊娠の方 以上 ①・②の両方に該当する方。

中小企業融資対策資金貸付事業費

- 新型コロナウイルス感染症拡大による影響により、資金繰りが悪化している小規模事業者を支援するため、融資制度の実質無利子・無担保を実施。



新型コロナウイルス感染症特別経済対策事業費

- 売上げが大幅に下落した中小企業等の経営の安定化を図るため、テナント賃料に対する給付を実施。

また人の移動制限により、大きな影響を受けている宿泊業者に対し、応援金を給付。

- ・ テナント賃料給付額 テナント賃料月額に応じて上限10万円まで
- ・ 宿泊業応援金給付額 旅館やホテルを経営する宿泊業者 30万円
簡易宿泊所を経営する宿泊業者 10万円



- 市内の飲食店等をはじめとする対象店舗でスマートフォンを利用したキャッシュレス決済に対するポイント還元キャンペーンを実施。

- ・ 事業内容 市内の対象店舗でスマートフォンを利用したキャッシュレス

決済をした際、支払額の20%のポイントを付与する。

- ・ ポイント付与率：1ポイント1円分で、支払額の20%のポイント還元。

(上限：一回につき上限1000ポイント・事業期間内上限5000ポイント)

- ・ 実施時期：令和2年9月(予定)



観光客受入環境整備事業費

●まちの賑わい創出や地域経済の再活性化に向けて、市民・県民・周辺県からの観光客を対象に、SNSを活用した本市の魅力を発信する投稿記事をコンテスト形式で競い合わせるキャンペーンを実施



文化事業推進費

●市内で活動する文化芸術団体等が、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、文化芸術活動に取り組むための経費を補助

- ・対象者 市内に事業所又は活動拠点があり、文化芸術活動を行う団体又は個人
- ・補助金 1事業当たり、上限25万円(補助率は事業費の2/3)

● 令和2年第1回高松市議会定例会(3月10日) ●

質問

①色弱者に対応した防災強化の改善策として、*CUDを認証した各種ハザードマップを作成すべきでは?

*CUD認証とは…誰でも識別しやすい色使いの普及を行っているNPO法人 カーニバーサルデザイン機構の認証です。

②市民向け文書について、色使いの配慮や対象者に応じた文字の大きさへの対応を図る必要があるので?



③手話通訳者の男性通訳者が極端に少ない現状を踏まえ、解消のための今後の取組については?

④障がいの理解と合理的配慮の促進を図るため更なる補助制度活用方策について

⑤先月閣議決定されたバリアフリー法改正案を踏まえ、心のバリアフリーに関する移動等円滑化促進方針や基本構想を策定しては?

共生社会の推進について

答弁

②職員のユニバーサルデザインの考え方の更なる浸透を図り、色使いや文字の大きさに配慮し、市民の皆様により読みやすく、わかりやすい文書となるよう取り組む。

③新規採用職員以外の各階層別の研修にも、手話通訳者の資格を取得する際の助成制度も検討し、より多くの職員が手話技術を身に付けられる機会の提供に取り組む。

④大学等の連携による商店街でのワークショップの実施を検討するなど、商店街で本制度が更に活用して頂くよう努める。

質問

①市が管理する観光施設等などからキャッシュレス化を進め、今後も更なる外国人観光客の誘客促進や消費拡大に向けたキャッシュレス化に取り組む必要があるので?

②住民同士がお互い気持ちよく生活し、CO2削減にも取り組むために、外国語版ごみ分別アプリを配信しては?

外国人の方々への対応について

答弁

②来年度からは、英語に対応し、今後ニーズが見込まれる外国語にも対応していくよう検討する。

質問

①適正なクラス人数と現状に対してどのように考えているのか?

②試行的に実施した一時預かり事業の結果に対する考え方と新たな取り組みは?

③幼保連携型認定こども園に移行予定がなく、幼稚園単独施設として存続する3幼稚園(一宮幼稚園、川添幼稚園、前田幼稚園)の今後の在り方は?

答弁

公立幼稚園の在り方について

②預かり時間を午後4時までを延長して、午後4時30分までとし、実施園を三園追加し、さらに一年間一時預かり事業を実施し、検証して今後の在り方について検討する。

③移行予定がない一宮、前田、川添の三つの幼稚園については、今後、一時預かり事業の実施も含め、園児数の確保に資する事業も検討するなど、引き続き、地域における幼児教育の拠点として役割が果たせるよう努める。

質問

①運営の方々の実情に応じた募集要領の見直しを行う必要があるので?

②本市が中心となって中央卸売市場やJA香川県またその他の団体等との連携を行うべきでは?

③将来小学校区に1カ所開設の為にも、子育て支援課で開設や運営の相談支援や情報提供、様々な部署との連携を担うなど支援体制を整える考えは?

答弁

こども食堂支援について

②子ども食堂等の継続的な運営には、幅広い支援が欠かせないので、中央卸売市場やJA香川県などの連携は、有用であることから、今後連携の在り方について検討する。

③子ども食堂等実施団体やその関係団体等との連携、情報共有は重要なので、より充実した相談支援や情報共有ができるよう、市内のこども食堂等の実施団体などで構成する、ネットワーク会議の設置を検討し、担当課である子育て支援課を中心として、関係する様々な部署と連携を図るなど支援体制の整備も努めていく。

高松市立図書館等にブックカートがようやく配置されました！



一昨年6月に、一人のご婦人から「図書館によく行きますが、本は重いので、ショッピングカートみたいなのがあれば」とご要望頂きました。その後1年以上かかりましたが、図書館5ヶ所に「ブックカート」を配置。配置にあたり、よく女性の声を聞いて欲しいとも付け加え、アンケートをとり、夢みらい図書館には、ピンクのカートをそれ以外はシンプルなものになりました。

子育て中の母様からは「助かります」との喜びの声を頂きました。



一般不妊治療（人工授精）に対する助成事業が実現！

2019年10月から不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るため、一般不妊治療に対する助成事業が始まりました。この事業は、市内に住所があり、一般不妊治療が必要と医師に診断されて人工授精治療を受けた戸籍上の夫婦が対象です。以前不妊治療をされていた方々からご要望を頂き、経済的負担を軽くするため、助成の必要性を議会で取り上げました。その後同僚議員からも実施を訴え、実現に導くことができました。県内で妊娠するための活動をグループで応援している方から、「今回の助成事業は非常にありがたい。今後、不妊に悩む人をサポートする体制が充実することを期待します」とのお話を頂きました。



市指定ごみ袋の包装用袋に有料広告掲載を始めました！

新たな自主財源を確保するため、市指定の家庭用有料ゴミ袋の包装袋に広告掲載を始めました。2017年3月議会で私が導入を提案し、実現したものです。

指定ごみ袋は、5種類あり、半年分に相当する87万5000の包装袋に企業広告を掲載するもので、6月から販売を開始しました。



高ちゅうやれ活動報告

川島東町の長年傷んでいた道路舗装がようやく完成

平成28年11月に道路の痛みがひどく、自転車通学している中学生もいることから、舗装修繕の要望を党員さんを通じて頂き、時間はかかりましたが、令和元年に完成致しました。



川島東町の交差点にカーブミラーを設置

平成31年4月に交通量が多くて、見通しの悪い交差点があり、是非カーブミラーの設置をとの要望を党員さんを通じて頂き、その年の8月に無事設置できました

林町の危険な交差点に事故防止対策

令和2年1月に多くの住宅が立ち並ぶ地域で、見通しが悪く事故が多発している

交差点に、何らかの事故防止対策をとの要望を党員さんを通じて頂きました。4月に交差点注意の路面表示と夜間の水路への転落防止を図るため、水路側に区画線が引かれました。



去年3月に手話奉仕員養成講座基礎編を修了し、次のステップとして手話通訳者への道に進み、通訳者の勉強中です。いつか聴覚障がい者と自然な形で対話できるようになりたいと思います。

